

令和6年度一般会計当初予算案などについて、部局別質疑が3月11日から15日の5日間にわたり行われ、19日には総括質疑が、22日には討論・採決が行われました。審査の結果21件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

なお、一般会計当初予算案については、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議を付すことを賛成多数により決定しました。

予算特別委員会は32人の委員で構成され、県の予算案を集中的に審査するために設けられました。部局別質疑において事業内容などを詳細に審査した後、総括質疑では12人の委員が質疑に立ちました。各委員の質疑に対し、一問一答の形で知事をはじめ執行部から答弁がありました。

予算特別委員会



委員長
神尾 高善
(自民)



副委員長
新井 豪
(自民)



副委員長
萩原 一寿
(公明)

部局別質疑から

主な質疑と答弁

埋立跡地を活用した資源循環モデル事業について

Q 埋立跡地を活用した資源循環モデル事業は、資源循環による農業のモデル化を目的としているが、どのような農場を作るのか。また、しっかりとした運営は可能なのか。

A 寄居町の環境整備センター埋立跡地に農場と公園を作り、農場では、循環型農業の体験等を行う地域と、商業化の実証実験を行う事業所の二つのエリアを整備する。食品残さを活用した堆肥等で農作物を生産し、地元で販売することによりサーキュラーエコノミー(※1)の実践を図る。また、運営については、先端技術を持つ事業者8社のほか、地元寄居町の協力があるため、十分可能である。

放課後児童クラブの待機児童解消について

Q 放課後児童クラブの待機児童解消のために、児童館等の既存施設を活用して、受皿を確保するということだが、具体的にはどのような内容か。また、対象として、県内20か所を想定しているとのことだが、どの程度の市町村をカバーできるのか。

A 新たに放課後児童クラブが整備されるまでの間、児童館や公民館などの施設に専門のスタッフを配置させることで、児童の見守りなどを行っていく。対象は、待機児童が10人以上生じている、又は生じる可能性のある市町村である。昨年5月1日時点で、待機児童が10人以上生じているのは18市であるため、十分にカバーできる。

SAITAMAロボティクスセンター(仮称)(※2)の整備について

Q SAITAMAロボティクスセンター(仮称)の整備について、地元自治体を巻き込み特区制度の活用など、実際の街中でも実証実験ができるようにすべきではないのか。

A センターで対応できない実証実験に関しては、条件に合う河川敷等の活用について、関係者と調整を図っていく。特区の指定については、今後関係者から規制緩和に関するニーズ等をよく聞き取って判断していく。

医師確保対策について

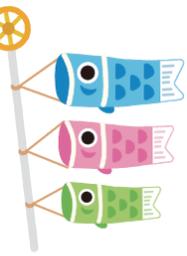
Q 医師確保対策のための地域枠奨学金の貸与枠拡充について、今後の医師確保数の見直しはどうか。また、民間医療機関での勤務でも、奨学金の返還免除となるよう検討しているとのことだが、令和6年度予算に反映されているのか。

A 地域枠奨学金と、県外医学部に通学している学生に貸与する奨学金制度を合計すると、令和5年度は135人が勤務している。令和6年度は207人、令和10年度には362人となる見込みである。また、公的医療機関は、地域の中核的医療機関として不採算医療を担うことが医療法で定められていることを踏まえ、返還免除については、公的医療機関での勤務を要件としている。令和6年度の新たな予算は設定していないが、今後確保できる医師数の動向や勤務先の状況も踏まえ、検討を進めたい。

発災初期のドローンを活用した情報収集について

Q 発災初期にドローンを活用した情報収集が必要な理由は何か。また、委託での実証実験を行うとのことだが、ドローンの購入は考えていないのか。

A 現在、災害オペレーション支援システムで、関係機関から情報を収集しているが、災害発生時には業務に忙殺され入力力が後手に回る状況も想定される。このため、県では初動対応を適切に行うため、被害状況の把握に、ドローンを活用できないか実証実験を行う。また、購入については、県内一律にバランスよく機体を整備する必要があるため、コスト面を考え、まずは委託での実証実験を行い有効性を探っていく。



用語解説

※1 サークュラーエコノミー

生産から廃棄までのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図り、環境への取り組みを企業の収益につなげていく経済活動。

※2 SAITAMAロボティクスセンター(仮称)

農業大学校跡地周辺地域に、ロボット開発を支援するための実証フィールド「ロボット開発支援フィールド(仮称)」と拠点施設「ロボット開発イノベーションセンター(仮称)」を整備予定。この実証フィールドと拠点施設の総称。

予算特別委員会 委員名簿 (◎は委員長、○は副委員長)

(令和6年3月27日現在)

◎神尾 高善(自民)	森 伊久磨(自民)	長峰 秀和(自民)	小早川一博(公明)	金野 桃子(県民)	岡村ゆり子(県民)
○新井 豪(自民)	江原くみ子(無所属)	保谷 武(自民)	尾花 瑛仁(自民)	細川 威(民主フォーラム)	城下のり子(共産党)
○萩原 一寿(公明)	杉田 茂実(自民)	阿左美健司(自民)	高橋 稔裕(自民)	渡辺 大(自民)	松井 弘(自民)
	高木 功介(自民)	宮崎 吾一(自民)	関根 信明(自民)	深谷 顕史(公明)	石川 忠義(県民)
	木下 博信(自民)	藤井 健志(自民)	横川 雅也(自民)	町田 皇介(民主フォーラム)	白土 幸仁(自民)
	宇田川幸夫(自民)	山根 史子(民主フォーラム)	水村 篤弘(民主フォーラム)	鈴木 正人(自民)	